

Ⅱ 平成25年度活動概況について<報告>

1. 会議の状況

3回の研究協議会(第1回は兼総会)と3回の研究委員会、役員代表者会を開催した。
年度内に第4回の研究協議会及び研究委員会が開催される。
各会議の開催日、主な議題等は以下のとおり。

	会議名	主な内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月3日(月)	13:30～ 15:30	東京文化会館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月3日(木)		
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定 JRとの意見交換	11月5日(火)		奈良まほろば館
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月14日(金)		東京文化会館
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月27日(木)		
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月3日(月)	11:00～ 12:30	東京文化会館
	第2回	データの分析・考察	10月3日(木)		奈良まほろば館
	第3回	データの分析・考察、まとめ	11月5日(火)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月27日(木)		東京文化会館
第48回研究発表会		実践研究発表等	11月22日(金)	13:30～ 16:30	水戸市・ レイクビュー水戸
全修協	第28回全国修学旅行研究大会(修学旅行の理論・研究実践発表、講演)		7月30日(火)	13:30～ 16:30	東京・ グランドヒル市ヶ谷
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会(修学旅行に関する意見・情報交換)		平成26年 1月23日(木)	14:00～ 16:00	滋賀県大津市

※年間4回の研究協議会の冒頭、講師を招いての講話を実施した。

2. 連合体計画輸送の状況

(1) 平成25年度計画輸送の実施

本年度修学旅行の専用列車(定期混乗を含む)は、関西方面へ春季3コース・秋季1コース、東北方面3コース(東北・秋田・山形新幹線利用)、信州方面1コース(長野新幹線利用)を5月8日(水)から9月25日(金)まで延べ154日間、793校116,741人の輸送を計画した。

5月8日、専用臨時電車の安全で快適な輸送を祈念して、東京駅東海道新幹線ホームで乗車各校の校長・代表生徒、関修委代表並びに関係者が出席し出発式を実施した。

(2) 平成27年度修学旅行専用列車の輸送計画の策定

1) 割り付け・組み合わせから発表までの手順

6月	3日	総会・第1回研究協議会	27年度輸送計画の大綱決定
	上旬～下旬		輸送申込書等配付(各県)
7月	19日		27年度輸送申込み締切
8月	21日		申込み集計の事務局送付
9月		<事務局にて割付原案の作成>	
10月	3日	第2回研究協議会	27年度輸送計画原案提案
	上旬～下旬		割付原案による確認、調整(各県)
11月	5日	第3回研究協議会	27年度輸送計画の決定
	29日		27年度輸送計画発表
2月	7日	各学校、JR輸送申込書を旅行社経由で提出	

(3) 輸送計画の確認と決定

平成27年度修学旅行専用列車の申込み数並びに組み合わせ原案の状況については、10月3日開催の第2回研究協議会に報告し、その後、各県での確認及び調整の会議が以下の通り開催された。群馬県は事務局と連絡の上、確認をいただいた。11月5日、第3回研究協議会にて、平成27年度修学旅行輸送計画が決定された。

- ・10月15日(火) 栃木県修学旅行部会 (宇都宮市・ホテルニューイタヤ)
- ・10月16日(水) 千葉県修学旅行委員会 (千葉市・千葉県教育会館)
- ・10月17日(木) 茨城県修学旅行委員会 (水戸市・ホテルレイクビュー水戸)
- ・10月18日(金) 埼玉県修学旅行対策部 (さいたま市・ホテルブリランテ武蔵野)

① 割り付けの学校数と生徒数

平成27年度修学旅行専用列車の申込み状況

(単位：校、人)

県 コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	39	5,586	90	12,301	20	1,728	212	35,799	107	17,014	468	72,428	-14
B	79	9,708	15	1,371	11	347	44	4,613	29	3,344	178	19,383	+4
C	1	80	2	281	0	0	45	8,424	48	8,920	96	17,705	-5
D広島	1	155	3	344	3	196	1	145	2	279	10	1,119	+2
秋季C	1	143	0	0	0	0	15	2,997	0	0	16	3,140	+1
合計	121	15672	110	14297	34	2271	317	51978	186	29557	768	113775	-12
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,020	4	1,020	+4
東北・山形	0	0	0	0	0	0	0	0	1	169	1	169	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	4	635	4	635	-2
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1,824	9	1,824	+2
総合計	121	15672	110	14297	34	2271	317	51978	195	31381	777	115599	-10
対前年	0	-323	-2	+240	-1	-62	-4	-693	-3	+524	-10	-314	

② 割付け日程

1) コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D広島	東北・山形	長野
5/8～7/8 62日間 72,428名 1日平均1,169名 1日最大1,248名 1日最少1,079名	5/28～6/14 18日間 19,383名 1日平均1,077名 1日最大1,229名 1日最少991名	春 5/8～6/29 53日間 17,705名 1日平均331名 秋 9/9～9/28 12日間 3,140名 1日平均262名	5/17～6/27 9日間 1,119名 1日平均125名	5/17～6/3 5日間 1,189名 1日平均238名	5/13～6/3 4日間 635名 1日1校 平均159名

③ 県別・コース別の設定期間(出発日基準)、人数、日数

コース	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
A	5/13～5/26 5,586名 14日間	5/12～7/1 12,301名 32日間	5/14～5/22 1,728名 9日間	5/8～6/30 35,799名 54日間	6/3～7/8 17,014名 33日間
B	5/28～6/14 9,708名 18日間	6/10～6/14 1,371名 5日間	5/28～6/2 347名 2日間	5/28～6/14 4,613名 10日間	6/5～6/12 3,344名 8日間
C	5/24 80名 1日間	5/13,14 281名 2日間	—	5/8～6/15 8,424名 26日間	5/14～6/29 8,920名 27日間
D広島	5/20 155名 1日間	6/17,24,27 344名 3日間	5/30,6/16 196名 2日間	5/17 145名 1日間	5/26,27 279名 2日間
秋C	9/9 143名 1日間	—	—	9/9～9/28 3,140名 12日間	—
東北・山形	—	—	—	—	5/17～6/3 1,189名 5日間
長野	—	—	—	—	5/13～6/3 635名 4日間

(4) 輸送計画の発表

11月29日(金)の確認

平成27年度修学旅行新幹線輸送計画……設定日確認は関修委ホームページによって検索可能。

3. 研究調査活動について

(1) 研究委員会の活動状況

1) 会議の状況

第1回研究委員会	6月3日	(東京文化会館)	調査の方向・内容の検討
第2回研究委員会	10月3日	(東京文化会館)	調査データ等の考察
第3回研究委員会	11月5日	(まほろば館)	調査データ等の考察・まとめ最終確認
第4回研究委員会	2月27日	(東京文化会館)	来年度に向け調査の方向・内容の検討

2) 調査の内容

①平成25年度修学旅行の実施状況並びに「学びの集大成を図る修学旅行」の取り組みについて

ア. 実施状況(実施方面、体験活動費を含め一人当たりの平均費用)

イ. 修学旅行での体験学習について

ウ. 震災後の方面変更等の調査

エ. 「学びの集大成を図る修学旅行」の取り組みに関する調査

(2) 第49回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

- 1) 日 時：平成25年11月22日(金) 13時00分～16時10分
- 2) 会 場：ホテルレイクビュー水戸（茨城県水戸市）
- 3) 主 催：関東地区公立中学校修学旅行委員会、公益財団法人 全国修学旅行研究協会
- 4) 開催要項：

1. 期 日 平成25年11月22日(金)
2. 会 場 ホテルレイクビュー水戸（茨城県水戸市）
3. 主 催 関東地区公立中学校修学旅行委員会
公益財団法人全国修学旅行研究協会
4. 後 援 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・水戸市・さいたま市・千葉市の各教育委員会
茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・水戸市・さいたま市・千葉市の各中学校長会
5. 主 題 「感性をはぐくむ修学旅行」
6. 日 程

(1) 受 付	13:00～13:30	
(2) 開会行事	13:30～13:55	
・開会のことば	関東地区公立中学校修学旅行委員会運営委員長	皆川 澄雄
・主催者あいさつ	関東地区公立中学校修学旅行委員会会長	豊島 正明
	公益財団法人全国修学旅行研究協会理事長	岩瀬 正司
・来賓祝辞	茨城県教育委員会教育長	小野寺 俊様
	水戸市市教育委員会教育長	本多 清峰様
・来賓及び講師紹介		
(3) 研究発表等	13:55～14:10	
・関東地区公立中学校修学旅行委員会の活動並びに研究調査報告	関東地区公立中学校修学旅行委員会研究委員長	鈴木 克彦
・研究発表1	「デジタル作品づくりをとおして育成する力 (創造・工夫)と緻密さへのこだわり」	東海村立東海南中学校教諭 栗田 徹
・休 憩		
・研究発表2	「ともに考え、学び合う修学旅行」 ～校訓「正しく」「強く」「美しく」の達成を目指して～	水戸市立美川中学校校教諭 大貫 克則 石川 聡
(4) 研究協議	15:20～15:40	
(5) 指導講評	15:40～16:00	茨城県教育庁義務教育課指導主事 宮澤 和弘様
(6) 閉会行事	16:00～16:10	
・閉会のことば	関東地区中学校修学旅行委員会運営委員長	皆川 澄雄

5) 各県の参加人数(案)

茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	来賓・事務局	その他	合計
103名	11名	2名	13名	11名	4(10)名	13名	157名

※ その他は、教材研究所、奈良県東京事務所等

(3) 修学旅行学習資料「関西の旅」

- ・平成14年度、部分改訂後。逐次最新情報に更新。
- ・平成26年度修学旅行用として、平成25年11月中に発行所より見本を各学校に送付。

(4) 現地視察会

1) 神戸市修学旅行現地研修会

- ア. 実施月日：平成25年8月9日(金)～8月10日(土) 2日間
- イ. 参加者：14名(埼玉県1名、千葉県5名、茨城県1名、栃木県2名、東京都3名、事務局2名)
- ウ. 視察内容：防災・震災学習と貿易港神戸の歴史と文化
 - 震災学習— 人と防災未来センター(防災未来センター内の活用について、施設見学)、メリケン波止場、1・17希望の灯り、地域人材支援センター施設見学・講話
 - 宿泊施設の視察— クラウンプラザ神戸、ホテル北野プラザ六甲見学
 - 神戸港クルーズ— コンチェルト船上ディナー、船内視察
 - 市内班別学習— ボランティアガイドによる北野地区、異人館等見学、ポートタワー北野工房のまち(体験実習)、海洋博物館・カワサキワールド

2) 東北方面修学旅行現地研修会

- ア. 実施月日：平成25年8月18日(日)～8月20日(火) 3日間
- イ. 参加者：16名(埼玉県5名、千葉県7名、群馬県1名、栃木県1名、事務局2名)
- ウ. 視察内容：被災地を中心に震災学習に関わる知識・技術の習得と世界遺産に見学
 - 震災学習— 教育的かつ効果的に学習できる施設・人材について(南三陸町、陸前高田他)
 - 宿泊施設の視察— ホテル観洋(南三陸町)、ホテル千秋閣(花巻温泉) 見学
 - 気仙沼— 漁業体験学習地域の視察、震災地区視察
 - 花巻市内— 農業体験地区視察、遠野ふるさと村(民話)
 - 平泉中尊寺— 毛越寺～平泉(ガイド付き) 見学、宮沢賢治記念館見学

4. 陳情・要請活動について

(1) 平成26年度修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情

- 1) 陳情先
 - 文部科学大臣、同初等中等教育局長、同初等中等教育局児童生徒課長 7月23日(火)
 - 財務大臣、財務省主計局長、同主計局文部科学省担当主計官 7月23日(火)
- 2) 陳情者(5団体連名)
 - 関東地区公立中学校修学旅行委員会 東海三県中学校修学旅行委員会
 - 近畿地区公立中学校修学旅行委員会 あおぞら号近畿地区運営協議会
 - 公益財団法人 全国修学旅行研究協会
- 3) 陳情内容
 - 全国公立小・中学校在籍の要保護及び高度へき地(3級～5級地)の児童生徒を対象に修学旅行費並びに校外学習費の国庫補助金の増額

平成26年度修学旅行費等の国庫補助金の陳情額と決定額(単価)

(単位：円)

行事種別	学校種別	要望額	対前年増額	26年度決定額	
修学旅行	中学校	55,900	200	57,290	
	小学校	20,800	200	21,190	
校外学習	中学校	宿泊を伴う場合	5,940	100	6,010
		宿泊を伴わない場合	2,280	100	2,240
	小学校	宿泊を伴う場合	3,570	100	3,570
		宿泊を伴わない場合	1,610	100	1,550

* 26年度は消費税3%分の増 <平成26年1月14日文科省から回答あり>

*20～24年度までの対象人数

校種	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校	13,884人	13,554人	13,424人	12,510人	13,475人
中学校	16,678人	17,380人	16,829人	17,405人	18,525人

(2) JRとの意見交換会について

11月5日(火)、第3回研究協議会において、JR東海、JR東日本との意見交換会を開催した。
事前に要望事項を提出し、回答を得た後、懇談を行った。今年度は特に、継走列車の相互乗り入れの可能性について多くの意見が出された。

5. 他団体との連携

(1) 第30回全国修学旅行研究大会

- 1) 期 日：平成25年7月30日(火)
- 2) 会 場：ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 3) 主 催：公益財団法人全国修学旅行研究協会
- 4) 内 容：大会主題「感性を育む修学旅行」研究主題「学びの集大成を図る修学旅行」
 - ①全修協提案 「学びの集大成を図る修学旅行」
公益財団法人全国修学旅行研究協会部長 山本 精五
 - ②実践発表 「被災地への修学旅行を通して感性をはぐくむ」
目黒区立東山中学校 前校長 牛島 正廣
" 教諭 小川 隆一
" 教諭 奥村 健夫
「被災地からの修学旅行」
東松島市立鳴瀬未来中学校校長 高橋 裕子
" 教諭 菅原 正嗣
 - ③講 演 「日本を元気に、地域を元気に」
前文観光庁長官・現京都大学経営管理大学院特命教授 溝畑 宏氏
- 5)参加者：約160名

(2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会

各地区修学旅行委員会の代表者による意見・情報交換会

- ・主 催 公益財団法人 全国修学旅行研究協会
- ・日 時 平成26年1月23日(木)14時～
- ・会 場 滋賀県大津市：琵琶湖グランドホテル(京近江)
- ・出席者 各地域の修学旅行委員会代表者並びに全修協
関修委出席者…豊島会長、太田副会長、皆川運営委員長、
塩田運営副委員長、守屋運営委員(埼玉県対策部長)

6. その他

(1) 資料・情報について

修学旅行等の最新の資料・情報を各研究協議会・発表会等で提供した。
・東京都、神奈川県の出発計画。神奈川県の修学旅行実施状況調査。

(2) 事務局の動向

事務局は、各研究協議会・研究委員会・研究発表会の運営に携わるとともに、各県の委員会(部)へ出席した。
また、JR東日本・JR東海とは随時訪問・連絡を行い、計画輸送がスムーズかつ確実に実施されるよう働きかけを行った。